

平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月11日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6036 URL http://www.keepercoating.jp/corp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷 好通  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 経営企画本部本部長 (氏名)賀来 聡介 (TEL)0562-45-5258  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	4,201	—	593	—	571	—	327	—
26年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	122.77	113.94
26年6月期第3四半期	—	—

- (注) 1 当社は、平成26年6月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年6月期第3四半期の売上高等の各金額、対前年同四半期増減率及び平成27年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
- 2 当社は、平成26年11月27日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
- 3 当社は、平成27年2月12日に株式会社東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、平成27年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は新規上場日から当第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株あたり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	4,365	2,560	58.6	782.41
26年6月期	3,112	846	27.2	331.62

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 2,560百万円 26年6月期 846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
26年6月期	—	—	0.00	—	—	6,250.00	6,250.00	—	—
27年6月期	—	—	0.00	—	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	—	—	8.00	8.00	—	—

- (注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
- 2 当社は、平成26年11月27日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。そのため平成27年6月期(予想)の年間配当につきましては当該株式分割を考慮しております。また、株式分割を考慮しない場合の平成27年6月期(予想)の年間配当は1株当たり6,400円に相当いたします。

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,906	12.9	633	40.8	601	33.4	350	33.5	124.10

- (注) 1 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
- 2 当社は、平成26年11月27日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、平成27年6月期の業績予想における1株当たり当期純利益金額を算定しております。
- 3 平成27年6月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(600,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(120,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年6月期3Q	3,272,000株	26年6月期	2,552,000株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	一株	26年6月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年6月期3Q	2,670,690株	26年6月期3Q	一株

- (注) 1 当社は、平成26年6月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年6月期第3四半期の期中平均株式数 (四半期累計) の記載をしておりません。  
 2 当社は平成26年11月27日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) P 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げの駆け込み需要の反動減の影響が和らぎ、企業収益は政府の経済対策及び金融対策ならびに円安を背景に企業収益や雇用・所得環境も改善傾向を維持する等、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社ではこのような環境の中、全国のキーパープロショップを対象とした「キーパー選手権」を平成26年8月と12月に実施しました。また、キーパー技術コンテストを平成27年2月から4月にかけて実施し、キーパープロショップにおける施工技術のレベル向上と維持について、積極的な取り組みを行いました。キーパーLABOの新規出店は、平成26年10月に「東郷店」、平成27年3月にショッピングモールとのコラボレーション店舗として「野田店」、同月に全国チェーンのドライブショップの敷地内に「大垣店」をオープンし直営34店舗の体制となりました。

このような活動の結果、全国のガソリンスタンドを中心としたキーパープロショップ数の拡大等による当社サービスブランドである「キーパーコーティング」の認知度向上に伴い、安定した施工実績を維持することができました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は42億1百万円、営業利益は5億93百万円となりました。株式上場に関連した費用が発生したこと等により経常利益は5億71百万円、四半期純利益は3億27百万円となりました。

なお、当社の売上高は、正月前の年末の需要が集中するため、他の四半期と比較して、第2四半期に売上高が多くなり、その反動で第3四半期にはその分だけ需要が落ち込みます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ12億52百万円増加し、43億65百万円となりました。これは主として、株式上場に伴い現金及び預金が11億73百万円増加、新規出店に伴い建設協力金が35百万円増加した一方、商品が1億5百万円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ4億60百万円減少し、18億5百万円となりました。これは主として、短期借入金及び長期借入金が4億31百万円減少、支払手形が96百万円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ17億13百万円増加し、25億60百万円となりました。これは主として、資本金および資本剰余金が14億4百万円増加、利益剰余金が3億7百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の業績予想につきましては、平成27年2月12日付の「東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました当期の業績予想から変更はありません。

なお、平成27年6月期においては次の事項に取り組んでまいります。

1つ目はキーパー製品の開発です。キーパー製品についてはキーパープロショップをはじめとした施工店からの期待に応える形で、新商品の「コーティング ケア」を平成26年10月に販売開始いたしました。ダイヤモンドキーパーケミカル、レジン2などのボディガラスコーティングと併せ、今後もキーパープロショップなどの施工店やカーユーザーに支持される製品開発に取り組んでまいります。

2つ目は高い品質を作り出す技術力の向上と維持です。平成27年3月末現在4,300店舗（前事業年度末比8.8%増）を超えるキーパープロショップをはじめ、施工店等の「現場」での上達会、定期研修会、キーパー選手権及びキーパー技術コンテストの開催による施工技術レベルの向上と維持を図ってまいります。また、一方でキーパーコーティング専門店である「キーパーLABO」の出店加速に注力してまいります。第4四半期には3店舗出店する予定です。

これらの取り組みにより売上高においては売上高59億6百万円（前事業年度比12.9%増）を予定しています。

営業利益については、部署毎に策定される販売費・一般管理費の年度予算をもとに、新規出店に伴う人員の増加に加え地代・家賃の増加を組み入れ、販売費・一般管理費は対前年比7.9%増の2億45百万円の増加を想定し、営業利益6億33百万円（同40.8%増）を見込んでいます。

経常利益については、営業利益に当期発生が見込まれる営業外収益、営業外損失を考慮して算出した金額を予想値としております。当期は上場関連費用の発生を織り込み、経常利益6億1百万円（同33.4%増）を見込んでおります。

当期純利益については、当期に発生が見込まれる特別利益、特別損失、税金費用を考慮して算出した金額を予想値としており当期は当期純利益3億50百万円（同33.5%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	417,066	1,590,703
受取手形	159,975	128,949
売掛金	470,885	474,728
商品	493,559	387,711
貯蔵品	23,038	26,394
前渡金	570	—
前払費用	27,365	88,534
繰延税金資産	27,330	37,821
その他	6,050	2,531
貸倒引当金	△1,257	△1,065
流動資産合計	1,624,585	2,736,309
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	698,154	732,990
構築物(純額)	51,586	66,110
機械及び装置(純額)	66,835	70,858
車両運搬具(純額)	55,661	46,292
工具、器具及び備品(純額)	47,774	55,423
土地	278,655	301,871
建設仮勘定	—	7,300
有形固定資産合計	1,198,668	1,280,846
無形固定資産		
のれん	4,553	3,577
ソフトウェア	17,950	15,937
その他	22,701	21,885
無形固定資産合計	45,206	41,400
投資その他の資産		
投資有価証券	34,746	36,693
破産更生債権等	120	—
長期前払費用	3,706	10,450
敷金及び保証金	81,968	106,928
建設協力金	10,023	46,015
保険積立金	14,705	14,315
繰延税金資産	98,915	92,422
その他	30	30
貸倒引当金	△120	—
投資その他の資産合計	244,094	306,856
固定資産合計	1,487,969	1,629,103
資産合計	3,112,555	4,365,412

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	167,299	70,451
買掛金	146,241	107,248
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	303,993	268,803
未払金	66,027	171,759
未払法人税等	126,192	146,028
未払費用	164,194	98,601
賞与引当金	15,780	62,203
ポイント引当金	32,403	12,511
その他	13,219	11,798
流動負債合計	1,235,352	949,406
固定負債		
長期借入金	722,868	526,131
退職給付引当金	79,235	95,078
役員退職慰労引当金	190,770	194,369
資産除去債務	38,028	40,392
固定負債合計	1,030,901	855,971
負債合計	2,266,254	1,805,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302,304	1,004,448
資本剰余金	—	702,144
利益剰余金	540,741	848,690
株主資本合計	843,045	2,555,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,255	4,751
評価・換算差額等合計	3,255	4,751
純資産合計	846,301	2,560,034
負債純資産合計	3,112,555	4,365,412

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	4,201,507
売上原価	1,305,117
売上総利益	2,896,389
販売費及び一般管理費	2,303,230
営業利益	593,158
営業外収益	
受取利息	375
受取配当金	767
為替差益	2,992
受取手数料	1,296
受取補償金	2,683
その他	827
営業外収益合計	8,942
営業外費用	
支払利息	7,764
デリバティブ評価損	3,924
株式公開費用	18,956
その他	16
営業外費用合計	30,661
経常利益	571,439
特別利益	
固定資産売却益	449
特別利益合計	449
特別損失	
固定資産除売却損	1,670
退職給付制度改定損	7,628
退職特別加算金	5,600
特別損失合計	14,898
税引前四半期純利益	556,990
法人税、住民税及び事業税	233,553
法人税等調整額	△4,449
法人税等合計	229,103
四半期純利益	327,886

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月12日をもって株式会社東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場にあたり、平成27年2月10日付で、有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式600,000株の発行及び平成27年3月10日付で、オーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式120,000株の売出し）による新株式120,000株の発行の払込みを受けました。

その結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ702,144千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,004,448千円、資本剰余金が702,144千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,798,437	1,403,070	4,201,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157,331	-	157,331
計	2,955,769	1,403,070	4,358,839
セグメント利益	540,101	151,486	691,588

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	691,588
セグメント間取引消去	△98,429
四半期損益計算書の営業利益	593,158

(注) セグメント間の内部売上高157,331千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益540,101千円には、セグメント間の内部売上高による利益98,429千円を含んでおります。